



# あきつ



## 我が子を信じる親の思いと

## それに応える子ども ~朝の登校風景から~

6月に入りました。この2か月、子どもたちは仲の良かった友だちとクラスが分かれたり、あまりお喋りしたこともない友だちと一緒にあったり…新しい環境の中で、それぞれがいろいろな感情を抱きながら過ごしたことと思います。しかしながら、最近の朝の登校の様子を見てみると、少しずつ子どもたちの様子に変化しているのを実感します。

その子は、なかなか朝からスムーズに教室へ入ることができませんでした。母親との別れるのが辛かったのでしょう…毎日のように、涙を見せながら教室付近で立ち止まっていた。私は『そんな気持ちにもなるよねえ…分かるなあ…』という思いでその子に関わりつつ、見守っていました。

すると…先日（5月後半）、その子のお父さんが、正門の近くで『はい、いってらっしゃい!!』と我が子に声を掛けると、速やかに立ち去られたのです。

その子は、しばらく正門の所で、行ったり来たり…。なかなか足が進みません。私も「あら、〇〇さん、おはよう」と声を掛けはしたものの、それ以上の言葉はあえて掛けませんでした。

それから2、3分経ったでしょうか…その子は、私に聞こえるくらいの声で「よし!!」と言って、教室へ走っていったのです。目の前がパッと明るくなるような、とてもうれしい瞬間でした。

きっと、その子は心の中でいろいろな気持ちと葛藤しながら、自分で決心したに違いありません。小さいながらに、自分の気持ちを整理し、次へと向かうことができたのです。とても素晴らしいことです。そして同時に、私は、ご家族の我が子を信じる気持ち、深い愛情を感じることができました。自分たちは親としてどう行動すべきかを、子ども中心で深く考えてくださっている…そう実感できました。

毎日、正門に立ち、子どもたちとあいさつを交わしています。そんな中に、保護者の方々が、それぞれに我が子のために行動されている光景があります。とてもありがたく思います。子どもたちの表情は日々違います。大きな声の時もあれば、『あれ? 今日小さいなあ。何かあったかな…』と感じる日もあります。『校長先生、おはようございます!!』と満面の笑みで挨拶をしてくれる子もいます。もちろん、こちらの声が聞こえなかったのか、考え事をしているのか…『おはよう』が返ってこない時もあります。でも、これが日常なのです。一人一人が、いろいろな感情を抱えながら、日々過ごしています。

ちょっとしたことに子どもたちの成長を感じながら、これからも朝の挨拶を続けたいと思います。

## プールがとてもきれいになりました!!

先週の29日（木）にプール掃除が行われました。5、6年生が中心となって、今年も気持ちよく泳げるようにピカピカにしてくれました。

私が4月赴任してプールを見た時には、水鳥がいて、悠々と泳いでいたのですが、いつの間にかいなくなり、この日を迎えました。午前5年生、午後からは6年生が一斉懸命にデッキブラシやバケツを持ち、プール周りやプールの中を擦り、1年間の汚れを落としてくれました。

子どもたちでできないところは、職員の出番です。汚れを集めて、排水溝まで持って行ったり、剥がれかけているラインをきちんと取り除き、子どもたちが水中で飲み込んだりしないようにしたり、全員の共同作業で頑張りました。今年もきれいなプールで泳げることに感謝です。みなさん、ありがとうございました。

